

2016年4月27日
第一生命保険株式会社

新たな信託スキームの活用による 外貨建プロジェクトファイナンス投資について

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:渡邊光一郎、以下「当社」)は、海外プロジェクトファイナンスに投融資する新たな信託スキームの活用により、貸付債権譲渡を受ける形で米国における大型 LNG(液化天然ガス)プラント建設プロジェクトに約 35 億円の投資を行うことを決定しました。

本件の実行に際しては、国内大手信託銀行と共同で新たな投資スキームを採用しました。本スキームを活用することにより、外貨建てのプロジェクトファイナンスに対して円貨建ての受益権形態で投資を行い、加えて為替リスクのヘッジ対応や債権の保安全管理等が効率的に運営されることで、より柔軟な取組みが可能となりました。今後、年間 30 兆円規模とも言われる海外プロジェクトファイナンス分野において、より広範な投資検討を進めていきます。

当社は、2013 年度よりインフラ投資の一環として国内外のプロジェクトファイナンス等、新たな資金需要に対して継続的・積極的に取り組んできたことから、インフラ投資の残高は約 1,000 億円まで順調に積み上がり、投資ノウハウの蓄積も進んできています。今後も多様な投資案件への取組みなどによる運用手法の高度化・多角化、ならびに機関投資家としての金融仲介機能の発揮により、資産運用収益を確保し、企業価値向上を目指していきます。